

THE SPECIALIST

ザ・スペシャリスト

FILE No: 007

写真家 岩合光昭さん



1950年東京生まれ。動物写真家として世界的に高い評価を受ける。NHK・BS「岩合光昭の世界ネコ歩き」は7年以上続く人気番組。父親は動物写真家の岩合徳光氏。

七年続くNHK・BSプレミアムの人気番組「岩合光昭の世界ネコ歩き」で知られる動物写真家岩合光昭さん。初監督映画「ねことじいちゃん」の撮影と同時進行して撮り下ろされたスチールフォトの写真展も開催中である。同展のトークショーとサイン会に来名した岩合さんにお話を伺った。

「地球上のあらゆる地域をフィールドに活躍する動物写真家」と称される岩合さんは、ライフワークとして身近なネコを四〇年以上撮り続けてきた。NHK・BSの番組「世界ネコ歩き」の撮影中には、岩合さんに寄りそってくるネコが多い。「岩合マジック」にかけられたネコだからこそ、撮影で生き活きた姿を見せてくれるのかと思いきや実はそうではなかった。

〔撮影は〕待つことがすべてです。ニューヨークのネコの撮影では六時間待ったことがあります。ですから『待つ』と意識をせず、『周囲の変化を感じながらの時間』と認識するようにしています」と話す。「世界ネコ歩き」は一時間番組で、撮影は一〇日をはかけるが、それでも時間がぎりぎりになることもあるのだという。中国の野生

パンダの撮影時には、三カ月待つこともあった。まさに「待つことがすべて」の撮影なのである。岩合さんの初監督作品「ねことじいちゃん」は現在、ミッドランドスクエアシネマなどで公開中である。三五万部以上売り上げたコミック「ねことじいちゃん」の実写化で、映画撮影の際に撮り下ろしたスチールフォト一六〇点が展示される写真展も開催中である。

今回は、映画、写真展、写真集の撮影を同時進行させて行なうプロジェクトだった。撮影した映像、画像の確認だけでも、映画撮影だけに比べて何倍もかかったはずだが、岩合さん本人はそれほどハードさを感じなかったように見えた。それは「長時間待つて撮影してきた」というキャリアのなせるわざなのかもしれない。

映画のキャストには柴咲コウさ